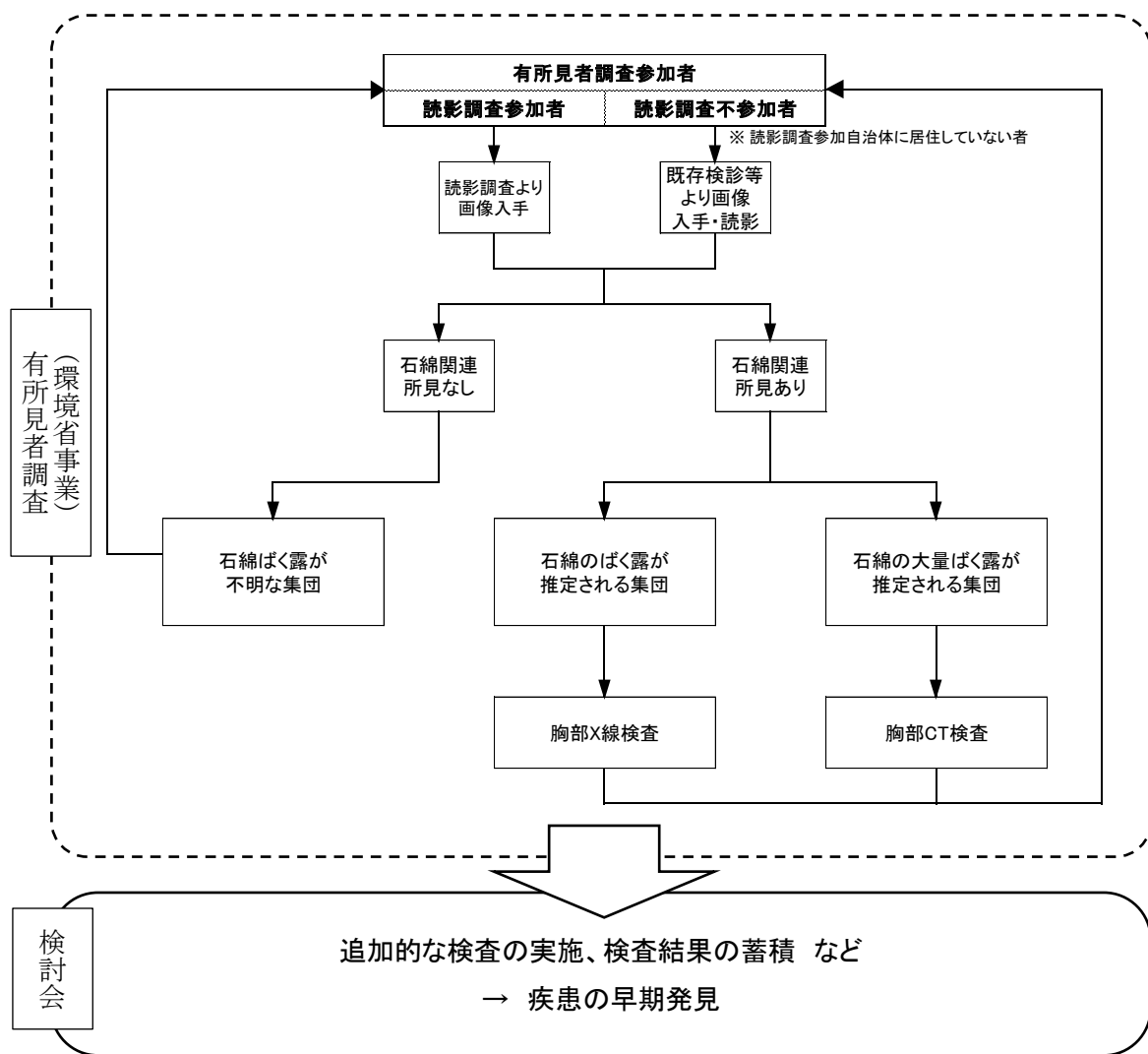


有所見者の疾患の早期発見可能性に関する調査について

有所見者の疾患の早期発見可能性に関する調査は、読影調査に参加した者や既存検診等に参加した者を対象に、「石綿ばく露が不明な集団」、「石綿のばく露が推定される集団」、「石綿の大量ばく露が推定される集団」に分類し、「石綿のばく露が推定される集団」及び「石綿の大量ばく露が推定される集団」に対する健康管理の在り方について検討するため、追加的な検査を行うことで疾患の早期発見につなげるため、知見を収集した。

有所見者調査のフローチャート



注) 石綿ばく露が不明: 石綿関連所見がX線で確認できない場合  
 石綿のばく露が推定される: 石綿関連所見がX線で確認できる場合  
 石綿の大量ばく露が推定される: 胸膜プラークがX線で確認できる場合 (広範囲プラーク)

## 1. 調査の周知

読影調査に参加している 34 自治体等に有所見者調査の説明書を提供し、読影調査参加者を中心に住民へ幅広く情報提供を行った。加えて、過去に転居者調査に参加し、石綿関連所見を有する者に個別に電話等で有所見者調査の案内を行った。

## 2. 有所見者調査の実施者数

分類	石綿ばく露が不明な集団	石綿のばく露が推定される集団	石綿の大量ばく露が推定される集団
読影調査参加者(n=740)	712	-	28
有所見者調査参加者(n=16)	8	0	8
有所見者調査実施者数	720	0	36
注)	石綿ばく露が不明: 石綿関連所見がX線で確認できない場合		
	石綿のばく露が推定される: 石綿関連所見がX線で確認できる場合		
	石綿の大量ばく露が推定される: 胸膜プラークがX線で確認できる場合 (広範囲プラーク)		

「石綿のばく露が推定される集団」に参加者がいないのは、コロナウイルス感染症の影響で肺がん検診の開始が遅れ、半年後の追加 X 線検査と次年度の肺がん検診の時期が重なったため、参加者が希望しなかったことが要因と考えられる。「石綿の大量ばく露が推定される集団」については 36 名が CT 検査を実施した。その結果について以下に示す。

	合計	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
胸部CT検査受診者	36	0	0	4	9	17	6	0
石綿関連所見実人数	29 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	8 (0)	14 (1)	4 (0)	0 (0)
①胸水貯留	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
②胸膜プラーク (胸膜肥厚斑)	28 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	8 (0)	13 (1)	4 (0)	0 (0)
③びまん性胸膜肥厚	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤肺野の間質影	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
⑥円形無気肺	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑦肺野の腫瘤状陰影 (肺がん等)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑧リンパ節の腫大	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
②胸膜プラーク且つ ⑤肺野の間質影あり	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)

※ ( ) 内は疑い (内数)

### 3. 課題

① 有所見者参加者が少数に留まっている。

- ・読影調査参加者に対する周知方法の在り方について
- ・読影調査不参加者に対する周知方法の在り方について

② 参加者が少数であるため、ばく露の分類が十分にできず、検討できない。

- ・石綿ばく露の分類について
- ・参加者の分類フローについて

### 4. 令和3年度の有所見者調査の実施状況

2021年8月末時点の実施状況は以下のとおりである。

問合せ件数 : 44 件  
申請書送付 : 17 件  
同 意 : 7 件  
分類確定済 : 1 件